

患者様の作品展

患者様の趣味や得意分野において、たくさんの作品を出展して頂き、われわれの目を楽しませて頂きました。どれもプロ顔負けの作品ばかりです。本当にありがとうございました。



近藤内科病院・ホスピス徳島アクセス

徳島県徳島市西新浜町1丁目6-25
 電話:088-663-0020(近藤内科病院代表)
 088-663-0070(ホスピス徳島直通)
 FAX:088-663-0399



交通のご案内

- タクシーで
 徳島駅 → 当院 (約15分: 1,300円)
 徳島空港 → 当院 (約40分: 4,500円)

(料金はだいたいの目安です。)

近藤内科病院からのお知らせ

- 8月の健康教室
 粟飯原賢一医師による「動脈硬化の予防と対策」～あなたの動脈硬化が早期にわかる～
 8月30日(土) 14:30～ 近藤内科病院3Fカンファレンスルームにて開催。
 定員60名の予約制となっておりますのでご希望の方は受付までお申し出下さいませ。
- 市の一般健診
 7月から市の一般健診が始まっております。10月になると大変混雑することが予想されますので、8～9月中に受診されることをお勧めいたします。
- 近藤内科病院が
 「新建築2002.12月号」「日経ヘルスケア5月号」「ナーシングトゥデイ6月号グラビア」
 に掲載されております。是非ご覧になって下さい。

わかば通信 夏の特別版 ホスピス徳島特集



近藤内科病院(ホスピス徳島)夜景図

院長あいさつ

梅雨が明け、鉦や太鼓の阿波踊りのお囃子が聞こえていよいよ徳島の夏本番です。日頃は大変お世話になっております。今年の4月で私どものホスピス・緩和ケア病棟（ホスピス徳島）は開設丸一年になりました。おかげさまで皆様のご支援によりホスピスが順調に立ち上がってきております。この一年間は私どもにとって大変貴重な経験を積ませて頂いた年でした。多くの先生方からのご紹介でたくさんの患者様を看せて頂くことで、まさに医療者は患者から学ぶという毎日でした。この経験を次の一年に積み上げてよりよいホスピスケアを目指したいと思っております。

6年前、私たちは徳島で初めてのホスピス・緩和ケア病棟を計画しました。多くの医療関係者・市民の方々・患者、家族の皆様のご支援をいただき、昨年4月にホスピス徳島を開設いたしました。改めて御礼を申し上げます。私たちがホスピスケアに取り組もうとした原動力は、近藤内科病院開設20年間に随分たくさんの患者様を診させて頂いた貴重な経験によるものです。これら多くの経験から私たちも全国の進んだホスピス・緩和ケア病棟と同じようにホスピスケアができるのではないかと感じたからです。しかし、実際のホスピス・緩和ケア病棟の現場は、従来の内科診療とは随分違っておりました。紹介して頂いた患者様は残り時間少なく重症であり、治療より何よりもホスピスケアを必要としておりました。そのような現場を見ておきますと、ホスピスケアの先人の知恵をさらに学ばなければいけないと思っております。それはチーム医療・全人的ケア・家族ケアの充実です。ボランティアの方々が行う季節の催し物、ティーサービス・緩和ケアガーデンのきれいな花の手入れなどがホスピスケアに欠かすことのできないものであると実感しております。また、ご紹介頂いた主治医の先生がホスピス病棟に診に来て頂くことが患者様にとってどれだけ心強いかわかりません。

ホスピス徳島は地域社会に開かれたホスピス病棟、紹介元の先生方がいつでも出入りできる、医学部学生・看護学生がホスピスケアを習得できる、そして多くのボランティアが参加できるホスピス病棟を目指します。最後になりましたが、この一年間、患者・家族の皆様、ご紹介して頂いた先生方・医療関係者の皆様、ボランティアの皆様に変な御世話になりました。心より感謝いたします。

近藤内科病院 院長 近藤彰

緩和ケア病棟長

徳島で初めての厚生労働省認可緩和ケア病棟「ホスピス徳島」が、西新浜の新しい近藤内科病院の3階に平成14年4月、オープンして1年ちょっとが過ぎました。新しい病院に新しい病棟、スタッフ一同、慣れないながらも予後の限られた時を少しでも意義のあるものにするために、日夜努力をして参りました。この一年間に71名の皆様のお見送りをさせて頂き、私たちも皆様のおかげで随分成長させて頂きました。とはいってもまだまだ未熟な私たちは、満足して頂ける身体的なケアのみならず精神的ケアを提供できるように、日々の研鑽を積んでよりいっそう成長していかなければならないと思っています。

緩和ケア病棟長 荒瀬友子

開業以来、日々の内科診療・看護の中で、緩和ケアに取り組む中で環境面やケアの面でより充実して毎日を過ごして頂きたいと思い、緩和ケア病棟を昨年4月に開設し、1年が過ぎました。

私たちは患者・家族の皆様の思いを尊重し、「ここに来て良かった」と思って頂けるよう毎日看護に取り組み、患者・家族の皆様から多くのことを学び、私たちも少しずつ成長することができました。これからは患者・家族の皆様お一人おひとりとの出会いを大切に、皆様と一緒に日々を過ごさせて頂きたいと思っています。

看護師長 谷田典子

緩和ケア病棟主任看護師

昨年4月に緩和ケア病棟を開設し、スタッフの努力はもとより、医師を始めボランティアの方々、そして患者・家族の皆様に支えられ1年が過ぎました。患者・家族の皆様のお思いを最大限に尊重し、少しでも充実した時間が過ごせるようお手伝いできればと思い看護してきました。

日々患者様とともにここに来てよかったと思えること「良かった探し」ができればと思い看護しています。開設1年目まだまだ未熟ですが、様々な出会いと別れが私たちを成長させて下さっています。多くの方々に感謝し、今後も看護に取り組んでいきたいと思っています。

緩和ケア病棟主任看護師 富永恵美子

医療相談室からのお知らせ

緩和ケア病棟（ホスピス徳島）の窓口を担っています。ホスピスって・・・？どんなところ？入院するにはどうすればいいの？などなど疑問に思われることがございましたらまず、お電話してみてください。ご一緒に考え、患者様にとって少しでも良い方法を見出せたらと努力していきたいと思っています。

平成14年度の相談件数・・・155件
入院に関わった患者様（4名再入院を含む）・・・89名

医療相談室・緩和ケア事務室
緩和ケア病棟

電話：088-663-0070 担当：高島

患者様からの手紙



このたびわかば会の施設にグランドピアノが設置されることになりました。六月十八日にそのピアノの初弾式と第一回のピアノコンサートが開催されるに際し、わかば会を讃える歌を演奏することを思いつき、作詩をすることになった。

私が入院して一ヶ月を経過しましたがその間に受けた感激を内容に折り込んだ。

その第一は建物の窓が明るく、床から天井までつつぬげに工夫されていること、そして廊下が広く、ピカピカに磨き込まれていて、まるきりホテルのロビーの感じである。隅々を利用してソファーが置かれていて話し合いの出来る施設が各所に設けられ又年間の諸行事が催される広場や展示場

など細やかな配慮が至るところにあり、こんな施設の中で養生できることに大きな生きがいを感じたのである。

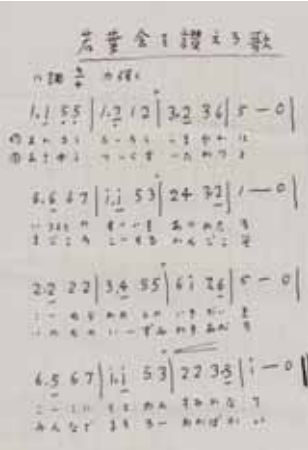
次に朝夕いただく食事に栄養部の方々の細心の工夫がなされていて、毎日の食事が楽しみである。その上に真心のこもった看護をしていただき、ありがたさに感謝の日々である。生きがいと感謝の心をこめて、まとめました。唄い方は次のとおりです。

(→右写真は直筆の作詩曲符です)

若葉会を讃える唄

- 一、明るく広く細やかに
医療の粋を集めたる
これぞ我等の生きがいを
ここに求めん住家なり
- 二、朝夕つくすいたわりと
真心こもる看護こそ
命の泉わきあがる
みんなで守ろう若葉会

作詩 村上重雄



～ホスピス徳島の一年を振り返って～



Spring

- ・映画鑑賞
- ・ギターコンサート
- ・雛祭り
- ・鯉のぼり
- ・端午の節句 (菖蒲湯)

Summer

- ・七夕祭り
- ・ほんま連訪問阿波踊り
- ・花火大会

Autumn

- ・お月見
- ・フルートコンサート
- ・紅葉祭り

Winter

- ・津軽三味線コンサート
- ・クリスマス会
- ・キャンドルサービス
- ・新春邦楽アラカルト
- ・餅つき大会

